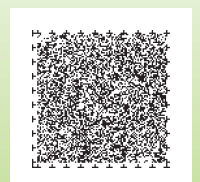


第2期高知県地域福祉支援計画

～ 県民誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせる「高知型福祉」の実現 ～



平成 28 年 3 月
高 知 県



ごあいさつ

本県では、平成22年2月に、保健・医療・福祉の各分野の課題の解決に真正面から取り組むため、「日本一の健康長寿県構想」を策定し、毎年PDCAサイクルによる個々の施策の検証を行いながら、バージョンアップを図ってまいりました。

中でも、福祉の分野においては、ともに支え合いながら生き生きと暮らす「高知型福祉」の実現を目指して、小規模多機能型の地域福祉の拠点となる「あったかふれあいセンター」の整備をはじめ、地域で支援を必要とする住民の皆様などへの支援体制づくり、福祉を支える担い手の育成などに取り組んでまいりました。

あわせて、こうした地域福祉の取組を推進するため、基本指針となる「高知県地域福祉支援計画」を平成23年3月に策定し、市町村の地域福祉計画と市町村社会福祉協議会の地域福祉活動計画の策定なども支援してきたところです。

その結果、平成25年度末には、全ての市町村において地域福祉計画が策定されるとともに、「あったかふれあいセンター」については、平成27年度末時点でサテライトを含めて県下の230箇所以上で活動が展開されるなど、中山間地域を中心に支え合いのネットワークづくりが進展するとともに、認知症対策や自殺防止対策などでも一定の成果が現れてきております。

しかしながら、少子高齢化が進行する中で、中山間地域などでの福祉・医療サービスの提供や、サービス提供を担う人材の確保など、解決すべき課題も多く残されていることから、平成28年2月には「第3期日本一の健康長寿県構想」を策定いたしました。今後は、「県民の誰もが住み慣れた地域で、安心して暮らし続けることのできる高知県」の実現を目指して、「地域地域で安心して住み続けられる県づくり」をはじめとした5つの根本的な課題の解決に向け、より重点的かつ骨太な対策を講じていくこととしております。

こうした中、平成27年度末で計画期間が満了となる「高知県地域福祉支援計画」について、今般、第2期計画を策定し、「あったかふれあいセンター」などでこれまで培ってきたネットワークなどを活かしながら、介護予防サービスの充実・強化を図るとともに、認知症カフェの設置を推進するなど、QOLの向上につながる取組への支援策を抜本強化することといたしました。

「高知家」の一員である県民の皆様方におかれましては、「第3期日本一の健康長寿県構想」はもちろんのこと、構想と一体的に推進することとなる「第2期高知県地域福祉支援計画」に基づく取組に、これまで以上にご理解、ご参画いただきますよう、心からお願い申し上げます。

最後に、第2期計画策定にあたり、貴重なご意見やご提言をいただきました高知県社会福祉審議会の委員の皆様をはじめ、ご協力いただきました多くの皆様に厚く御礼を申し上げます。



平成28年3月

高知県知事 尾崎 正直

